

科目分類	専門職の教育			開講学科	看護学科
科目番号	学年	配当セメスター	区分	単位数	授業時間数
73105	1	後期	必修	1	30
授業科目名 (英文)	基礎看護援助方法Ⅱ（日常生活の援助） (Basic for Evidence Based PracticeⅡ)				
担当教員名	宮本 千津子／安藤 瑞穂／平田 美和／大西 淳子				
授業の概要及び到達目標					
<p>授業概要</p> <p>本科目では、基礎看護援助方法Ⅰでの学修に引き続き、多くの看護援助を受ける人に共通して活用される基礎的な身体と生活機能の観察および根拠をふまえた日常生活援助技術の実施、評価する視点の獲得を目指している。尚、本科目は基礎看護援助実習Ⅰと関連し開講する。</p> <p>到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 看護援助を受ける人の生活機能の観察および日常生活援助に関するアセスメントに必要な情報について説明できる。 2. 日常生活援助方法の選択に必要な視点について説明できる。 3. 根拠をふまえた看護技術の方法について説明・実施できる。 4. 日常生活援助の評価の視点について説明できる。 5. フィジカルアセスメントの意義と目的を理解し、必要とされる技術について説明できる。 					
準備学習等					
<p>予習復習について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義・演習は学生の予習を前提として行うため、事前課題に必ず取り組んだ上で臨むこと。 ・ナーシングスキルの該当箇所を視聴し、予習・復習に活用すること。 ・前期開講科目である「体の仕組みと働き」で学習した内容を復習して授業に臨むこと。 ・後期開講科目である「体の仕組みと働き演習」の学習内容と関連づけて学習すること。 					
成績評価の方法	筆記試験（60%）、演習の準備状況・参加度（40%）とし総合的に評価する。 ※筆記試験が60%未満の場合は再試験となる。筆記再試験が60%未満の場合は単位習得ができない。				
テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・茂野香おる他、「系統看護学講座 専門分野Ⅰ基礎看護学[2]基礎看護技術Ⅰ」第17版、医学書院、2019。 ・任 和子他、「系統看護学講座 専門分野Ⅰ基礎看護学[3]基礎看護技術Ⅱ」第17版、医学書院、2017 				

参考図書	授業の中で提示する
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・本科目は基礎看護援助実習Ⅱ（2年次）の履修前提条件となる。 ・オフィスアワーは、履修案内の看護学科「オフィスアワー」の項をご参照ください。
授 業 計 画	
<p>第1回：清潔・衣生活援助技術①＜講義＞清潔の援助／病床での衣生活の援助</p> <p>第2回：清潔・衣生活援助技術②＜演習＞寝衣交換／部分清拭</p> <p>第3回：清潔・衣生活援助技術③＜演習＞全身清拭</p> <p>第4回：清潔・衣生活援助技術④＜演習＞陰部洗浄・おむつ交換</p> <p>第5回：清潔・衣生活援助技術⑤＜演習＞洗髪</p> <p>第6回：清潔・衣生活援助技術⑥＜演習＞足浴</p> <p>第7回：食事援助技術①＜講義＞食事援助の基礎知識／食事摂取の介助</p> <p>第8回：食事援助技術②＜講義＞非経口的栄養摂取の援助／口腔ケア</p> <p>第9回：食事援助技術③＜演習＞食事援助／口腔ケア</p> <p>第10回：排泄援助技術①＜講義＞自然排尿および自然排便の介助</p> <p>第11回：排泄援助技術②＜演習＞床上排泄援助／ポータブルトイレでの排泄援助</p> <p>第12回：排泄援助技術③＜講義＞排便を促す援助（浣腸／摘便）</p> <p>第13回：フィジカルアセスメント①＜講義・演習＞</p> <p>第14回：フィジカルアセスメント②＜講義・演習＞</p> <p>第15回：フィジカルアセスメント③＜演習＞</p> <p>※授業の進捗状況により変更する場合があります。</p>	